

```
<title>メディアウォッチャー -_- のぶlog</title>
<meta name="description" content="Media Watcher nob
logメディアウォッチャー戸倉信吉がグローバルな視点でメディアの"今"を
発信します!!&「悠="" Tube="" 」="">
<meta name="keywords" content="think,tank,tanker,
```

```
<meta http-equiv="Content-Style-Type"
content="text/css">
```

```
<meta http-equiv="Content-Script-Type"
content="text/javascript">
```

# 放送とは何か?

TELECOMMUNICATIONS

```
<link rel="alternate" href="http://www.seesaa.net/
seesaa.net/index.rdf" type="application/rss+xml" title="RSS">
```

```
<link rel="meta" type="application/javascript" href="http://mediawatcher.seesaa.net/foaf.rdf" title="FOAF" />
```

## QUARTET 四重奏

```
<!--[if lte IE 6]>
```

```
<script type="text/javascript" src="
"http://mediawatcher.up.seesaa.net/image/
DD_belatedPNG.js"></script>
```

```
<script type="text/javascript">
DD_belatedPNG.fix('#container');
</script>
```

```
<![endif]->
```

```
<style type="text/css">
```

```
fb_hidden{position:absolute;top:10000px;z-index:10001}
```

```
.fb_invisible{display:none}
```

```
.fb_reset{background:none;border-spacing:0;border:0;
```

```
color:#000;cursor:auto;direction:ltr;font-family:
"lucida grande",
```

```
tahoma, verdana, arial, 'Hiragino Kaku Gothic
Pro',Meiryo,
```

```
'MS PGothic',sans-serif;font-size:11px;font-
style:normal;
```

```
font-variant:normal;font-weight:normal;letter-
spacing:normal;line-
```

```
height:1;margin:0;overflow:visible;padding:
0;text-align:left;text-
```

```
decoration:none;text-indent:0;text-shadow:
none;text-transform:
```

```
none;visibility:visible;white-space:normal;word-
-spacing:normal}
```

戸倉信吉著

```
<title>メディアウォッチャー 信吉のぶlog</title>
<meta name="description" content="Media Watcher nob
logメディアウォッチャー戸倉信吉がグローバルな視点でメディアの"今"を
発信します!!&「悠="" Tube="" J="">
<meta name="keywords" content="think,tank,tanker,
```

```
<meta http-equiv="Content-Style-Type"
content="text/css">
```

```
<meta http-equiv="Content-Script-Type"
content="text/javascript">
```

# 放送とは何か?

## TELECOMMUNICATIONS

```
<link rel="alternate" type="application/rss+xml" href="http://
seesaa.net/index.rdf" type="application/rss+xml" title="RSS">
```

```
<link rel="meta" type="application/javascript" href="http://mediawatcher.seesaa.net/foal.rdf" title="FOAL" />
```

## QUARTET 四重奏

```
<!--[if lte IE 6]>
```

```
<script type="text/javascript" src=
"http://mediawatcher.up.seesaa.net/image/
DD_belatedPNG.js"></script>
```

```
<script type="text/javascript">
DD_belatedPNG.fix('#container');
</script>
```

```
<![endif]-->
```

```
<style type="text/css">.
```

```
.fb_hidden{position:absolute;top:10000px;z-index:10001}
```

```
.fb_invisible{display:none}
```

```
.fb_reset{background:none;border-spacing:0;border:0;
```

```
color:#000;cursor:auto;direction:ltr;font-family:
"lucida grande",
```

```
tahoma, verdana, arial, 'Hiragino Kaku Gothic
Pro',Meiryo,
```

```
'MS PGothic',sans-serif;font-size:11px;font-
style:normal;
```

```
font-variant:normal;font-weight:normal;letter-
spacing:normal;line-
```

```
height:1;margin:0;overflow:visible;padding:
0;text-align:left;text-
```

```
decoration:none;text-indent:0;text-shadow:
none;text-transform:
```

```
none;visibility:visible;white-space:normal;word-
-spacing:normal}
```

戸倉信吉著

# 放送とは何か？ QUARTET 四重奏

2012 年度版 戸倉信吉著



iPad 2		The new iPad		
	16GB	16GB	32GB	64GB
Wi-Fi	'399	'499	'599	'699
Wi-Fi + 3G	'529	'629	'729	'829

1.テレビ、2.パソコン、3.ケータイ +プラス 4.スマートフォンの四重奏  
クロスメディアの時代をあなたはどのように生きていきますか？

## 2012年『放送とは何か？QUARTET 四重奏』

### はじめに Prologue

#### 21世紀は繋がらばなしの世界

スマートフォンが世界を席卷しています。ケータイに/やっと慣れたら/もうスマホデジタルに弱い！という人たちのうめき声が聞こえてきます。



日本では通勤・通学列車の中もケータイからアップル社の iPhone などスマートフォンに代替わりしています。情報端末の進化です。

ケータイなら、テレビはワンセグで観られたのにスマートフォンでは、アプリケーションを入れないと観る事ができません。その代り4月から国内初のスマホ専用TV「NOTTV」が、テレビで流れるCMでいえば、おっばじまりました。経営主体はNTTドコモ、「通信」事業者による「放送」です。地上波デジタル化で空いた元放送用電波を使うので通信の弱点だった「輻輳」に悩まされることはありません。NEWS 専門チャンネルでは、TBS や日テレが24時間、コンテンツを提供します。

スマートフォンは電話機の進化形ではありません。パソコンからの進化形、超小型高性能デバイス device です。音声通信やメールばかりでなく、PC 同様検索やゲーム、電子書籍、Web Site、blog、映画鑑賞、投稿サイト「YouTube」、「USTREAM」、「ニコニコ動画」などからの情報収集、何でもでき、一刻を争う災害時にも役立つ防災グッズでもあります。

つい先日、電車に乗ったら iPad で子守りをしているママに出会いました。思わずパチリ写メ！

ただでさえ荷物が多い子育て中のママ、オムツや着替えていっぱいのお母車です。

そのうえ、絵本を何冊も持ち歩かなくともこのママは、動画サイト「YouTube」につないでアニメをつ



ぎからつぎへ幼児にみせていました。

いつでも、何処でも、誰とでも繋がっている世界。それも繋いだときだけではなく“常時”繋がっている“21世紀は繋がらばなしの世界”の上に、我われの日常生活が成り立っています。有線だけでなく無線・モバイル網も高速・広帯域化して来ました。

INNOVATOR (革新者) は、インターネットです。どんなに人と人が離れていても時間と空間を軽々超えたのです。しかし、テレビ同様現地の空気までは伝えません。伝え手はやはり人間の「こころ」と伝え方次第、伝える方法「メディアリテラシー」が今こそ必要です。

電気 Electricity と同じように目にはみえないが在るデジタル「bit」の世界は、目に見えるモノ「atom」を征服し、すさまじいスピードで第三次産業革命が、日本やアメリカのみならず全世界同時に起り、“いま”電子 Electron 時代を迎えています。

「イスラム世界」の中東や北アフリカなどでは ICT 情報技術を駆使した呼びかけによって人民が蜂起、流血まで起きるリアルな独裁政権打倒の火の手があがっています。

「マスコミ4媒体」と言われるテレビ、新聞、出版、ラジオといったリーチ力を誇ったマスメディアも、遺産 legacy となりインターネットに次々に広告市場を奪われています。

日本では Yahoo!、欧米では Google の検索サイトトップがここ数年来アツと言う間にシェアをのぼし、新聞、出版、ラジオの広告費のパイを奪い、いまテレビに迫っています。

「SNS」とよばれる Facebook に代表される Social Networking Service or Site も広告費で大きな利益を得、王者 Google に迫ります。アメリカでは Apple 社が元気ですし、Amazon そして自動車産業もリーマンショックからのいち早い立ち直りが見られます。

一方、日本のお家芸、薄型・大型のデジタルテレビは売れたのですが、利益がでません。

白物家電メーカーは大赤字。

**パナソニック、シャープは過去最悪の赤字**

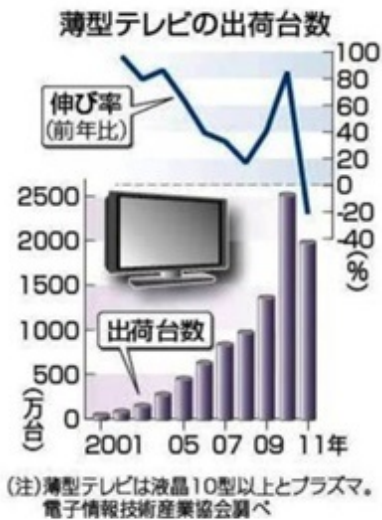
電機大手8社の今期連結業績見通し

	売上高	前年公表比	最終損益
パナソニック	8兆円 (▲8)	▲3600億円	▲7800億円 (赤字転落)
ソニー	6兆4000億円 (▲11)	▲1300億円	▲2200億円 (連続赤字)
シャープ	2兆5500億円 (▲16)	▲2960億円	▲2900億円 (赤字転落)
日立製作所	9兆5000億円 (2)	—	2000億円 (▲16)
東芝	6兆2000億円 (▲3)	▲750億円	650億円 (▲53)
三菱電機	3兆6700億円 (1)	▲350億円	1000億円 (▲20)
富士通	4兆4900億円 (▲1)	▲250億円	350億円 (▲36)
NEC	3兆1000億円 (—)	▲1150億円	▲1000億円 (連続赤字)

計1兆2900億円  
巨額赤字

\*各社決算資料等から作成。カッコ内は前年比増減率(%)、前年公表比は上半期決算時との比較

2011年度の決算見通しでは、パナソニック、ソニー、シャープの3社、通期連結業績の最終損益は合わせて約1兆2900億円の赤字を見込み、税金の払えない企業に成り下がっています。



韓国や台湾メーカーとの競争激化で単価下落も年を追うごとに激しくなっており、ほぼ全ての社が「つくればつくるほど赤字」という状況に陥っています。

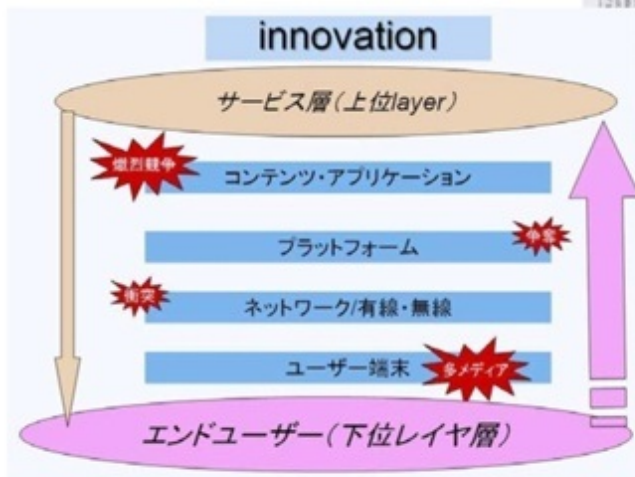
地デジ特需に湧いた2010年は2,500万台もの国内需要がありました。平年の2.5倍です。が、利益が出ないのです。家電メーカーにとっては、あの映画『ALL.WAYS 三丁目の夕日』でテレビが飛ぶように売れた高度成長期の成功体験が忘れられないと言います。

つくっても利益の出ない日本の産業と諸外国との差はどこにあるのでしょうか？

ところで筆者が40年間過ごしたプラットフォーム・地上波テレビは、2011年7月24日、アナログ電波が停止され、デジタルへと完全移行しました。

テレビが一家に一台、お茶の間や居間に置かれ、世間への窓であった時代、テレビは家族の絆でもありました。テレビ番組を観るのはテレビ受像器だけだった時代です。

INNOVATION は、ユーザー端末の多様化。コンテンツ・番組もプラットフォームも多様化、BS放送も31チャンネルに増え、CS放送や地上波放送と合わせ300~400チャンネル時代に。



左の図は、メディアを科学的に4階層に分析しました。

「放送」も熾烈な競争時代に突入しています。グローバル化社会は、多様な電子 Electron メディア media を通して世界中の人々が同じ情報を同じ時間で共有・共感する時代です。

メディア media とは、米・英語のミディアム medium の複数形で中間の意。ステーキハウスでお肉の焼き具合をシェフが聞く「well-done (充分焼けた) ? rare (生焼け) ? medium (中くらい) ですか？」の中くらい (=中間) です。したがって日本語では“媒体”と訳され情報源と情報の受け手を取り次ぐ情報伝達の役目を、また情報の送り手自身もメディアと呼んでいます。

3. 1 1 東日本大震災ではメディアの持つ底力、重要性が再認識されました。被災された皆さまにはこころからのお見舞いを申し上げます。



メディアが伝える「情報」こそが、これまでライフラインといわれた電気・ガス・水道より一番のライフラインであることが再認識されたからです。

配給された冷たいおにぎり一個を分け合って食べた被災者たちは、「半分のおにぎりでも充分満足です。皆のあたたかい支援に涙がこぼれます。」

被災地ばかりでなく日本中が今までの驕った日常に気づき反省しきり、価値観も 3.11 を機に大きく変わりました。

第3章 3.11before & after でお話します。この本のメインディッシュです。

「放送とは何か？」というメディアの変貌ばかりでなく、その「使命」や人々の心の深層やケアにまで言及できればと思っています。

筆者は、3年前、『放送とは何か？ 3Screens era 3スクリーンズ時代』をサテマガBI社から上梓しました。

3スクリーンズとは、「テレビ」、「パソコン」、「ケータイ」の3つの画面をいいます。

2005年の1冊目から“21世紀は、繋がらばなしの世界”をキーワードに2年毎、これまで3冊、受講生向けの教科書として出版しました。2011年が改訂期でしたが、メディアの重要な節目 7.24 の完全地デジ化を見届けてからと思っていたらまさかの 3.11 でした。

今回の、『放送とは何か？Quartet 四重奏』＜電子教科書＞は、3スクリーンズにモバイルの進化形スマートフォンやタブレット端末が加わり、4 Screens の時代では？の問いかけがまずあります。

半世紀前、カナダの社会学者で警世家、現代メディア論の元祖マクルーハン **Herbert Marshall McLuhan**, 1911年7月21日 - 1980年12月31日は、彼の時代まだ草創期だったテレビに、人と人とを繋ぐコミュニケーションツールを期待しました。右の写真は、1967年米『Newsweek』誌の表紙をかざった“時のひとマクルーハン”です。

「*The medium is the message* メディアはメッセージである」は、一躍彼を時代の寵児に押し上げました。

マクルーハンは言います「テレビは involve だ、つまり中に入り込むメディアである」と。テレビの出演者は好き嫌いは別にしてみな、私の親しいひと、身内になってしまうのです。

さらにマクルーハンが言った“地球村 the Global Village”の概念が今また脚光を浴びています。彼はテレビに「テレビが古代ギリシャのような理想村を作るのだ」とその希望を託しました。電気時代のことです。

それから数十年、果たしてテレビは人と人を結ぶ絆になったのでしょうか？疑問です。

筆者は、インターネットのSNSこそ、その役目を果たすものと期待しています。

アナログからデジタルへ、電子時代の旗手は、なんとといっても2011年10月5日惜しくも54歳で亡くなった **S. ジョブズ氏**です。



**Steven Paul Jobs**, 1955年2月24日生まれ、彼が手に持ったリンゴは、世界を一変させました。

2011年1月に発表されたApple社の10～12月期決算で金融筋の予測額3兆円を遥かに越える3.6兆円を売り上げています。純利益も1兆円超を計上。手元資金は約8兆円、企業価値を示す株式時価総額は5千億<sup>ドル</sup>。(約41兆円)を突破しました。



flagship product すなわち主流の売り上げ商品、iPhone は、3,700 万台を、タブレット端末 iPad は 1,500 万台を世界相手に売り上げました。

さらにアップル社は、デジタル教科書 digital textbooks の「販売」ビジネス競争に参加を表明、それらを読むためのリーダー端末にも最適な iPad を貧困地域の教室に無料で配り始めています。かつて同社のパソコンを教室に無償で配ったように。教育改革を喚起しています。



R.I.P.  
Steven Jobs

R. I. P. Rest in Peace 安らかにお眠り下さい。

幼い生徒も 10 年経てば成人します。Apple 製品が、ビルゲイツ氏のウィンドウズ **Microsoft Windows** を尻目に近年復活したのは、デザインのよさや、次から次へ繰り出される魅惑的なアップル製品に消費者の触手がうごいたことは、否めません。しかし「やがて使い慣れた Apple 製品の購買者になるだろう」、かれは長いスパンで消費者を育てていたのです。

S. ジョブズ氏亡きあと ICT 界の旗手は、Facebook の ザッカーバーグ氏 です。



世界最大のインターネット交流サイト (SNS)、フェイスブックはマーク・ザッカーバーグ **Mark Elliot Zuckerberg**、1984 年 5 月 14 日 生まれ CEO がハーバード大在学中の 2004 年に設立しました。

2012 年 2 月現在、登録ユーザーは全世界で約 8 億 4,500 万人、2011 年の売上高は 37 億 1,100 万ドル。ネット広告の勇、グーグルやヤフーを脅かす存在にまで急成長し、この度、株式を上場しました。

上場後の時価総額は最大 1,000 億<sup>F</sup>。(約 7 兆 6,000 億円) と試算されています。3,000 人の社員、ストックオプション (自社株購入権) を持つ社員はたちまち億万長者です。

ザッカーバーグ氏自身は、28%を保有しているそうです。

**Social** もそうですが、**Smart** と **Cool** が“いま”を知るキーワードとなっています。

賢い、高度な、Smart Phone や Smart TV、Smart House まである世の中、これらがインフラであったり娯楽であったりの“いま”を彩り、カッコ良い、Cool な ICT 時代を紡ぎます。

筆者は、社会学徒として、メディアの変貌や変遷を通じ、人々のコミュニケーションに役立つような本、それも「論」ではなく科学的な「学」として書きたいのです。

あなたが情報の「受身 passive」でいられた、ある意味気楽なアナログテレビの時代からデジタルに変貌したテレビそしてパソコンやモバイルの SNS 時代は、あなたの情報へのアクセスという行動力、「能動 active」が問われます。

この4冊目の教科書、副題を QUARTET にしたのは4冊目の4という意味もあるのですが、大事なのは“ハーモニー”です。このデジタル ICT 時代に人々が国境を越え、異なる民族や文化の違いを認め合い、協調・共存していくのがこれからの時代、との思いです。他人と自分はちがって当たり前、そこからの人間関係をどう築くのか？ 何が媒体メディアとなるのか？

「宗教」と「世俗」、宗教が公共性をもたないわが、ニッポン。行動を律する宗教が無く、“共同体”という規範がひとびとを律してきた「和」の国ニッポンです。その地縁、血縁の共同体が崩れつつある“いま”、かつてはテレビが生き方まで教えていました。

四重奏に指揮者はいません。楽器がちがう各々の演奏者が“自分”の耳を頼りに他の楽器の音色を聞き分け、絶妙のハーモニーを醸し出すのです。他人との関係のなかの“自分”が問われます。そして“私とは何か？”大学生の今、あなたに気付いて欲しいのです。

メディアは”いま”、Facebook に代表される SNS 時代を迎えました。  
「実名が信条の Facebook は、年賀状とおもえば良い」と友人が教えてくれました。ピンボ～ンです。日頃のご無沙汰だが、年に一回の近況報告、送り手が、元気であるヨ！の発信をすれば、受け手は、ああ こいつ元気だ！発信すれば誰かが答えてくれます。

逆に、発信しなければ誰からも返答のないのが Facebook です。発信者になれ！  
1対1の通信でもなく1対n(多)の放送でもないn対nの関係です。

良き発信者とは？ SNS は、土足で相手の深部までは踏み込まない“ゆるい”社会です。

**♪人とちぎるなら薄う契りて末までとげよ/もみじ葉を見よ/薄きが散るか濃きがまず散る もので候、さうちやわいな♪**

江戸時代の小唄がコミュニケーションとは？そして、人生とは何か？を教えてください。

アマチュアも情報発信者になれる SNS 双方向時代、プロフェッショナルのノウハウも捨てたもんじゃない貴重だと思っています。筆者がこれまで40年間すごしてきたプロフェッショナルなテレビというメディアの知識ではない、発信者の“知恵”をお伝えします。

ご一緒にメディアの変貌を学び、全世界70億人とハーモニー、平和な調べを奏でましょう！  
まずは、第1章ラジオの歴史から、温故知新です。

## 目次 『放送とは何か?』 QUARTET

<b>第1章 歴史からみた放送とは何か?</b> . . . . .	11
<b>1-1 ラジオ放送の誕生</b> . . . . .	12
§ <u>世界最初の本格的放送局KDKAの登場</u>	
§ <u>ラジオ以前</u>	
§ <u>発明王 エジソン Thomas A. Edison (1847-1931)</u>	
§ <u>ラジオ・ブームがやってきた</u>	
<b>1-2 世界がつながりはじめた</b> . . . . .	24
<b>1-3 日本のラジオ放送の歴史</b> . . . . .	27
§ <u>大正が終わり、時代は昭和に移ります</u>	
§ <u>臨時ニュースは、満州事変の勃発を伝えました</u>	
§ <u>国威高揚のベルリン・オリンピック</u>	
§ <u>太平洋戦争始まる</u>	
§ <u>日本は戦いに敗れた国です</u>	
§ <u>ラジオは戦後の混沌にやすらぎと情報をもたらしました</u>	
§ <u>新しい「電波三法」の施行</u>	
§ <u>民間放送の誕生</u>	
<b>1-4 テレビジョン放送の誕生</b> . . . . .	58
§ <u>テレビの弊害</u>	
§ <u>子供へのテレビの影響について、南博教授は。</u>	
§ <u>高度成長期は、昭和34年に始まりました</u>	
§ <u>選挙報道について</u>	
§ <u>テレビ躍進を予言した一言</u>	
§ <u>テレビ受信機と普及の速度は?</u>	
§ <u>白黒からカラーテレビに</u>	
§ <u>初の日米宇宙中継は、ケネディー大統領暗殺</u>	
§ <u>ソニーが勝ち取ったVTRの権利</u>	
<b>1-5 「通信」の歴史</b> . . . . .	76
§ <u>日本では? 「通信」の歴史</u>	
§ <u>情報戦で勝った日本海海戦</u>	
<b>1-6 映画の歴史</b> . . . . .	82
§ <u>新婚さんいらっしゃいのヒ・ミ・ツ</u>	
§ <u>藤山寛美さんとの出会い</u>	

<b>第2章</b>	<b>法律からみた「放送」とは何か？</b>	95
2-1	法律からみた「放送」とは何か？	96
§	放送法が改正されました、60年ぶりに！	
§	放送の目的は？	
§	憲法に保障された“自由”	
§	受信料で成り立つ公共放送NHK	
§	放送のデジタル化	
§	受信世帯の形態は？	
§	デジタル化の費用は？	
2-2	ケーブルテレビと法律	119
§	有線テレビジョン放送法で「放送」とは何か？	
§	ケーブルテレビと再送信（改正放送法では、再放送と呼ぶ）	
2-3	既存の「放送」と新規参入放送事業者	123
§	電気通信役務利用放送法の登場	
§	著作権法で「放送」とは何か？	
§	著作権法の改正	
§	プラットフォーム時代	
2-4	衛星放送とは何か？	136
§	多チャンネル競争時代？	
§	海外の衛星放送事情は？	
2-5	著作権法とは何か？	143
§	日本の無方式主義⇄方式主義	
<b>第3章</b>	<b>3.11 before &amp; after</b>	148
3-1	3.11 ビフォーアフター	149
§	<b>エピソード1</b> でかしたぞ！広島の中2年生	
§	<b>エピソード2</b> 防災行政無線	
§	<b>エピソード3</b> ACって何ですか？	
3-2	頼るべきすべは？やはり核エネルギー？	168
§	1. NHKスペシャル『巨大津波”いのち”をどう守るのか』	
§	2. インターネットとの連携でいち早く復興した村	
3-3	その時 既存メディアはどう動いたのか？	177
§	<b>新聞</b> ・・・	
§	<b>雑誌</b> ・・・	
§	<b>ラジオ</b> ・・・	

§	<u>「YouTube」 &amp; テレビ・・・</u>	
§	<u>がれきの山が来るぞ！</u>	
§	<u>2011年3月11日 3.11 after</u>	
	<b>第4章 QUARTET 四重奏</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・	<b>191</b>
	<b>4-1 勇気づける“夢”</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・	<b>192</b>
§	<u>『夢はみるものじゃなく、叶えるものだ』</u>	
§	<u>宇宙探査衛星「はやぶさ」の感動</u>	
§	<u>米・スーパーボウル2012</u>	
§	<u>スーパーボウルのCM</u>	
§	<u>テレビを見ながら端末利用 米英では約半数に</u>	
	<b>4-2 ソーシャル時代のテレビは？どうなる？どうする？</b> ・・・・・・・・	<b>205</b>
§	<u>コミュニケーションの基本は、“ことば”です。</u>	
§	<u>アナログとデジタルの違い</u>	
§	<u>ホリエモン フジテレビ買収騒動</u>	
§	<u>より繋がる時代へ</u>	
	<b>4-3 あなたが使い分ける時代</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・	<b>221</b>
§	<u>スマートフォンの現状は</u>	
§	<u>Smart, Cool そして Social は、時代のキーワード</u>	
§	<u>人生の目的ってタイムイズマネー？</u>	
§	<u>四重奏カルテットの時代</u>	
§	<u>技術がおわたたら今度は、社会や人間の責任です。</u>	
	<u>付録1 デジタル時代のテレビ論点</u>	
	<u>付録2 TV NEWS NETWORK 図01</u>	
	<u>付録3 TV NEWS NETWORK 図02</u>	
	<u>付録4 WORLD TIME CHART</u>	

## おわりに

その年に活躍、”時の人”の顔写真が表紙を飾る TIME's Person of the Year。去年惜しくも亡くなった偉大なイノベーター、アップル社・スティーブ・ジョブズ氏、最後は若き日の姿でした。米・タイムズ誌に何度何度も登場しました。

<http://ja1.blog42.fc2.com/blog-entry-152.html>

因みに TIME's Person of the Year、第1回『TIME』誌の表紙はアメリカの飛行家、「翼よあれがパリの灯だ！」のチャールズ・リンドバーグ、1927（大正2）年の事です。

2011年の表紙は、The Protester（「抗議活動（デモ）参加者」）でした。



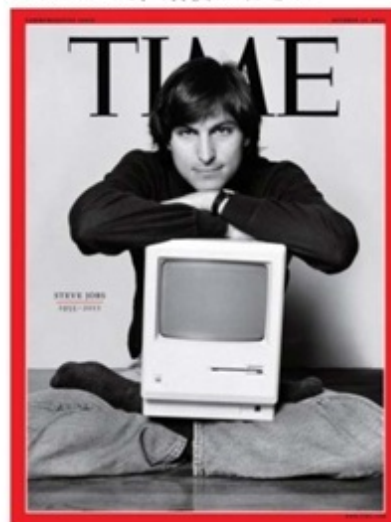
ウォール街を占拠したデモ隊また、ロシアの反政府運動や「アラブの春」を叫ぶ民衆の蜂起！ Protester です！

2006年暮れの『TIME』誌は、「YOUあなた」パソコンの真ん中が黒くみえていますが、実は銀箔になっています。そこに自分の顔が映る仕掛けです。しゃれていました。

GoogleがYouTubeを買収した年でした。「Tube」は、真空管の意味です。したがって動画投稿サイト「YouTube」は、あなたのブラウン管ですヨ～！の意味です。

「YOU.」、ドット付きの「YOUあなた」です。お読みいただいた皆さま、あなたは、インターネットで何を？

この電子書籍は、ワイフ・美紀に校正をたのんだり、長男慎介には編集作業をお願いしました。中学部以来の友人・居藤光彦氏、中谷征生氏には貴重なアドバイスを頂きました。失礼ながら一々お名前は挙げませんが、多くの方に支えられ完成しました。 多謝！



平成24（2012）年4月6日 神戸・六甲アイランド自宅にて 筆者

## ● 著者 略歴 PROFILE



戸倉信吉 TOKURA NOBUYOSHI

朝日放送社友

同志社女子大学嘱託講師

関西学院大学非常勤講師

財団法人情報通信学会員

The Japan Society Information and Communication  
Research

昭和 20 (1945) 年 1 月 4 日 疎開先の信州で生まれ、  
神戸育ち。

1969 年 関西学院大学社会学部卒業、朝日放送にアナ  
ウンサーとして入社。

1974 年 ディレクター、プロデューサーに転身。

全国ネット番組『新婚さんいらっしゃい!』、『藤山寛美舞台中継』、『おはよう朝日です!』  
など数々のヒット番組を担当。

1993 年 朝日放送第三のメディアCS放送「スカイ・A」に出向。

全国のケーブルテレビ局を自分の足で目で廻った。

朝日放送に帰任後、03 年の地上波デジタル電波発射にあわせデジタルメディア局長に就任。

2009 年 3 月末 朝日放送を退職。

著書/ 『放送とは何か?』 2005 年刊

『放送とは何か? 2011』 2007 年刊

『放送とは何か? 3 SCREENS era』 2009 年刊

### 『放送とは何か? QUARTET 四重奏』 2012 年<電子書籍>刊

2012 (平成 24) 年 4 月 6 日 発行

著者 戸倉信吉 2012 Tokura Nobuyoshi

ブログ <http://mediawatcher.seesaa.net/>

発行者 一瀬 悦子

発行所 サテマガ B I 株式会社

〒104-0045 東京都中央区築地 2-14-1 新井ビル 4F TEL 03 (5565) 7830

<http://www.satemaga.co.jp>

編集者 戸倉慎介

校正 戸倉美紀

ISBN978-4-901867-45-0 C2065 ¥1905E 定価 2000 円 (税込み)

<title>メディアウォッチャー ー- のぶlog</title>

<meta name="description" content="メディアウォッチャー ー- のぶlog" />

<meta name="keywords" content="メディアウォッチャー ー- のぶlog" />

<meta name="author" content="メディアウォッチャー ー- のぶ" />

<meta name="generator" content="Seesaa" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html" />

ISBN978-4-901867-45-0 C2065 ¥1905E

定価 2000円(税込)



メディアウォッチャー ー- のぶlog

<http://mediawatcher.seesaa.net/>

<link rel="alternate" href="http://mediawatcher.seesaa.net/index.rdf" type="application/rss+xml" title="RSS">

<link rel="meta" type="application/rdf+xml" title="FOAF" href="http://mediawatcher.seesaa.net/foaf.rdf">

<!--[if lte IE 6]>

<script type="text/javascript" src="http://mediawatcher.up.seesaa.net/image/DD\_belatedPNG.js"></script>

<script type="text/javascript">DD\_belatedPNG.fix('#container');</script>

<![endif]-->

<style type="text/css">.

fb\_hidden{position:absolute;top:10000px;z-index:10001}

.fb\_invisible{display:none}

.fb\_reset{background:none;border-spacing:0;border:0;

color:#000;cursor:auto;direction:ltr;font-family:

"lucida grande",

tahoma, verdana, arial, 'Hiragino Kaku Gothic

Pro',Meiryo,

'MS PGothic',sans-serif;font-size:11px;font-

style:normal;

font-variant:normal;font-weight:normal;letter-

spacing:normal;line-

height:1;margin:0;overflow:visible;padding:

0;text-align:left;text-

decoration:none;text-indent:0;text-shadow:

none;text-transform:

none;visibility:visible;white-space:normal;word-

spacing:normal}